

令和4年度 延岡市立上南方小中学校【学校関係者評価書】

○ 4段階評価(「とてもそう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」) 数値は、「とてもそう思う」「まあそう思う」合計の割合% 評価
(4、3、2、1)

評価項目	質問項目	児童生徒	保護者	教職員	結果の考察と改善策(○成果、●課題、▷改善策)	学校評議員コメント	評価
学力の向上 【勤勉】	1 学校は、子どもが「分かる・できる」ように指導を工夫していると思いますか。	94.3	87.7	100	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一台のパソコン活用をすることで、自分の画面で写真を見たり図を見ながら説明を聞いたり視覚的に分かりやすい授業に取り組んできた。また、個別指導にも力を入れている。 ● 既習内容の習得が不十分な児童生徒に対する支援の工夫が課題である。 ▷ 反復練習や課題・テスト等のやり直しの見届け・確認を継続していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒のパソコン活用は、2年目になり、活用機会も増えてパソコンを使った学習が浸透してきていると思う。 ・ 児童生徒への学習指導がしっかりできていると思う。 	4.0
	2 学校は、パソコンや大画面等のICT機器を活用した授業を行い、教育の効果を上げていると思いますか。	93.0	82.4	88.9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一台のパソコンを活用し、自分の考えをパソコンで説明したり、画面に表示された友達の考えやノート等を見たりして主体的な学習や考えを深める学習を進めることができた。 ● ICTを使う時間と話を聞く時間のメリハリをつけ、授業に集中させる必要がある。 ● タイピング練習の時間確保をしたい。 ▷ 授業でICTをどう活用したら効果的に学習できるのかさらに実践を重ねて追究していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パソコン活用は、日常生活にも必要なもので、積極的に活用しスキルを向上させてほしい。 ・ 授業での有効な活用の仕方について、今後も研究をしてほしい。 	3.7
	3 学校は、家庭と連携して、宿題等の家庭学習の習慣化を図っていると思いますか。 (学級通信、参観日、懇談会等)	93.0	84.2	83.4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に応じた宿題や自学を毎日、課題として出し家庭学習の習慣化を図っている。 ● 毎日の課題になかなか取り組めない児童への支援が課題である。 ▷ 各家庭への連絡や個人面談等で、連携をしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後子ども教室での児童の様子を見ていると、児童は、毎日宿題に取り組んでいる。 ・ 家庭で、親が子どもの学習を見るなどのかかわり方が大事だと思う。 	3.3
	4 学校は、子どもの主体的な進路選択や地域を大事にする心の育成のために授業や学校行事、PTA活動を工夫して行っていると思いますか。	86.6	71.9	88.9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いちいがしふれあいデー」を開催し、小学部は地域の方とのふれあい活動、中学部はSDGsの発表会を開くことができた。 ● 感染症予防の面から今年度も学校行事やPTA活動を縮小した内容での実施となった。 ▷ 感染症対応が大きく変わることに合わせて、行事やPTA活動の再開、見直しをする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症対策による行事等の縮小が影響していると思う。ある程度は実施してもよかったのではないかと。 ・ 学校と保護者で相談し合うとよい。 	3.0

評価項目	質問項目	児童生徒	保護者	教職員	結果の考察と改善策(○成果、●課題、▷改善策)	学校評議員コメント	評価	
心の教育の充実「礼節」	5	学校は、子どもが自ら決めたり、それぞれのよさを賞賛したり、皆で助け合い協力する人間関係づくりをするなど一人一人を大切にする教育を行っていると思いますか。	87.3	91.3	94.4	○ 生徒指導の3機能「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を形成する」「自己決定の場を与える」を生かした指導に努めている。 ● 児童生徒の評価がやや低く、3機能を生かした指導を浸透させていく必要がある。 ▷ 一人一人の頑張りやよさを褒めたり紹介したりすることに積極的に取り組んでいく。	・ 児童生徒が、自分で決める力をつけてほしい。 ・ 学校生活で、自己有用感を持ったり、周りの友達と共感し合う関係を築くことはとても大切なことなので、指導を継続してほしい。	3.7
	6	学校は、思いやりや感謝の心を育むために道徳教育や人権教育を重視した指導を行っていると思いますか。	97.4	80.7	94.4	○ 年間指導計画に沿って毎週1時間の道徳の授業を実施している。また、ジェンダー問題についての職員研修を実施し、人権意識を高めることに努めた。 ● 周りを思いやったり、感謝の気持ちを伝えたりできる児童生徒の育成を継続して進めていく。 ▷ 感謝集会等を児童生徒が主体的に行えるようにする。	・ 学校と家庭と連携した取組をしてほしい。	3.3
	7	学校は、あいさつなどの礼儀やルールなどの規範意識を身に付けさせるよう適切な指導を行っていると思いますか。	94.2	77.2	94.4	○ 小学6年生が朝のあいさつ運動をするなど主体的にあいさつを広げることに取り組んでいる。きまりを守る指導を定期的に行うとともに必要な場合は、集会を開いて指導をしている。 ● あいさつの声が小さかったり、時にルールを守れなかったりすることがある。 ▷ 保護者と連携を図って、一緒に児童生徒を導いていく必要がある。	・ 学校と保護者が連携した取組をしていくとさらによいのではないかと感じる。	3.7
保健安全教育の充実と体力の向上	8	学校は、健康や安全に関する指導が適切に行われ、自他の命を大切にする指導に努めていると思いますか。(道徳教育、避難訓練、学校保健委員会等)	96.2	93.0	100	○ 避難訓練は、学期1回以上実施している。また、学校保健委員会は、外部講師を招き心身の健康について考える時間を設けた。 ● ゲームやスマホを適切に使用できるように情報モラルの教育を継続して行っていく必要がある。 ▷ 保護者も含めて児童生徒の健康について考え、学校と家庭が連携した指導ができるようにしたい。	・ 自然災害が頻繁に起きているので、避難訓練は定期的に継続して実施していく必要がある。 ・ ゲームやスマホの使用時間が多く気になる。対策が必要だと感じる。	3.7
	9	学校は、「起床時間」「学習を始める時間」「就寝時間」を守る指導を行い、規則正しい生活の定着を図っていると思いますか。(保健だより、学級通信等)	77.7	80.7	72.2	○ 児童生徒に話をしたり、保健だより、学級通信等で3点固定を呼びかけている。 ● 家庭と連携した取り組みが課題である。 ▷ PTA活動と連携させた取り組みを探っていく。	・ 規則正しい生活は、とても重要だが、個々の意識の違いがある。 ・ 学校と家庭と連携した取組に期待したい。	3.0

評価項目	質問項目	児童生徒	保護者	教職員	結果の考察と改善策(○成果、●課題、▷改善策)	学校評議員コメント	評価	
【鍛錬】	10	学校は、体力作りや感染症の予防、教育相談等を行い、心と身体の健康作りの指導を行っていると思いますか。(体育、保健、学校行事、教育相談、保健だより等)	93.6	94.7	88.9	○ 持久走、竹馬、縄跳び大会等を行い、体力作りにつなげている。また、毎月、なやみアンケートを行い教育相談を実施している。 ● 感染症の予防をしながら、徐々に通常の活動に戻していく必要がある。 ▷ 感染症対策の移行をしっかり踏まえながら、適切に対応していく。	・ 竹馬大会は、伝統的な行事として今後も継続してほしい。	4.0
	11	学校は、学校だより、学級通信、ホームページ、安心安全メールなどを通して学校の情報を保護者や地域に発信していると思いますか。	96.8	93.0	94.5	○ 学校からの定期的な情報発信と必要に応じたメールでの情報提供に努めている。 ● さらに充実した学校の情報発信を継続していく。 ▷ 欠席、遅刻連絡のメール活用を図っていく。	・ 今後もさらに、地域に協力を要請してほしい。協力体制は十分にあるので、いつでも協力をする。	3.3
連携と協力	12	学校は、保護者や地域と連携して教育活動を行っていると思いますか。(PTA活動、はげまし隊、学校支援ボランティア等)	91.7	89.5	88.9	○ はげまし隊、読み聞かせ等の学校支援ボランティアなど、多くの皆様による支援に感謝しています。 ● 4月からスタートするコミュニティスクールを中心にした取組としてさらに進化させていく。 ▷ 運営協議会で、学校と地域との連携をしっかりと図っていく。	・ 感染症対策の影響で大変だったと思うが、学校や PTA 行事の PR をして、地域も巻き込んでほしい。地域は、いつでも協力をする。	3.3

4 段階評価	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
--------	--------	-----------	------------	----------